

《研究課題名》

限局性・転移性前立腺癌に対する局所治療の有効性・安全性の検討

《研究対象者》

滋賀医科大学医学部附属病院泌尿器科において、2012年1月1日から2028年3月31日までに当院で限局性・転移性前立腺癌治療経過中に術前・術後の補助化学療法を含めた手術、放射線治療などの局所治療を受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2029年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 泌尿器科学講座 影山進

（2）研究の意義、目的について

《意義》

前立腺癌に対する治療は多様化しており、それぞれの治療の成績や安全性を把握することは治療選択の際に極めて重要な情報となります。前立腺癌の治療選択に非常に重要な知見が得られ、治療選択の一助となると考えます。

《目的》

転移の有無を問わず前立腺癌に対する術前・術後の補助化学療法を含んだ手術・放射線外照射治療・小線源治療など術後サルベージ治療も含む経過中に施行した局所治療のそれぞれの治療成績・安全性の比較・評価を行います。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学医学部附属病院で前立腺癌に対して経過中に術前・術後の補助化学療法を含んだ手術・放射線治療を行った方を対象に、その術前の状態や治療成績、その結果などを評価します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

診療録をもとに年齢・身長・体重・Performance Status (ECOG 分類)・G8 問診表データ・BMI・並存疾患・治療日・治療方法・治療関連成績・病理所見・臨床データ (採血等)・clinical stage・合併症・pathological stage・病理所見・追加の治療・予後情報等を利用します。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報 (氏名、生年月日、住所等) を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記 (8) の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用 (又は他の研究に提供) することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記 (8) にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 泌尿器科学講座 影山 進

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2273

メールアドレス：hquro@belle.shiga-med.ac.jp